

下妻市定例教育委員会（令和５年４月２５日）会議録

１．開催日時	令和５年４月２５日（火） 午後３時００分 開会 午後４時００分 閉会
２．開催場所	下妻市役所千代川庁舎 ２階 第二会議室
３．出席委員	教 育 長            中山 均 教育長職務代理者   齊藤 修一 委 員                青木 明美 委 員                赤荻 由美 委 員                山口 政志（欠）
４．委員以外 の出席者	教育部長            横瀬 哲彦 教育部参事        圓崎 佳江 学校教育課長      國府田 聡 生涯学習課長      佐久間 秀樹 図書館兼公民館長   吉 川 淳 学校教育課長補佐   板橋 孝子 学校教育課係長    高崎 みゆき
５．議事録署名人	赤荻 由美委員
６．協議事項 及び研修	（１） 下妻市教育支援委員の委嘱について （２） 下妻市豊かな心育成推進協議会委員の委嘱について （３） 下妻市立学校の学校運営協議会委員の任命について （４） 下妻市訪問型家庭教育推進協議会委員の委嘱について （５） 下妻市訪問型家庭教育支援チーム員の委嘱について
７．議事の概要	
教育長	４月の教育委員会を始めたいと思います。議事録署名人の選出ですが、赤荻委員さんをお願いしたいと思います。最初に諸般の報告です。指導課からお願いします。
教育部参事	【指導課から報告】 ・小中学校の入学式と授業参観、ＰＴＡ総会等について ・中学校の修学旅行について
教育長	続きまして、学校教育課からお願いします。

学校教育課長	<b>【学校教育課から報告】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・庁舎の移転について</li> <li>・市立小中学校の運動会と体育祭について</li> </ul>
教育長	続きまして、生涯学習課からお願いします。
生涯学習課長	<b>【生涯学習課から報告】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・博物館での展覧会「飯田軍蔵利貞展」について</li> </ul>
教育長	最後に図書館公民館からお願いします。
図書館兼公民館長	<b>【公民館と図書館から報告】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館教室の受講生募集について</li> <li>・図書館のお楽しみおはなし会について</li> </ul>
教育長	続きまして、議事に入りたいと思います。最初に、報告第2号、下妻市教育支援委員の委嘱について事務局からお願いします。
教育部参事	<b>【資料により説明】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・下妻市教育支援員の委嘱について</li> </ul>
教育長	ただいま下妻市教育支援員の報告がございましたけれども、ご質問等ございましたらお願いします。よろしいでしょうか。
委員	<b>【承認】</b>
教育長	ご承認ありがとうございます。次に、報告第3号、下妻市豊かな心育成推進協議会委員の委嘱について事務局からお願いします。
教育部参事	<b>【資料により説明】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・下妻市豊かな心育成推進協議会委員の委嘱について</li> </ul>
教育長	こちらご質問等ございますか。 具体的には、会議等は。
教育部参事	コロナ禍で3年ほど実施を見送りましたが、年1回、こちらの委員で集まりまして、約3年で内容はローテーションしているんです

	が、研修会また学校の道徳の参観、学校行事等の参観を行わせていただき、その参観、研修等のあとに協議会をもつものでございます。
教育長	はい、そのような活動内容の協議会です。委員の皆さんから何かありましたらお願いします。
委員	【承認】
教育長	続きまして、報告第4号下妻市立学校の学校運営協議会委員の任命についてです。事務局からお願いします。
生涯学習課長	【資料により説明】 下妻市立学校の学校運営協議会委員の任命について
教育長	今回は、学校の教員の交代者のみの報告ですね。
生涯学習課長	確定した方のみということです。その以前の方は、3月で議決をいただいています。
教育長	教員は異動があるので、今回、異動者の先生の分のみの報告ですね。ご承知のように、今年はパイロット校5校で、そこにある総上小、高道祖小、大形小、下妻中、東部中での立ち上げです。来年に、残りの7校がスタートということになります。今年の5校については、この学校運営協議会制度と学校評議員制度、従来のものが今年だけ並行してやることとなります。移行時期となり、学校評議員制度のものは、令和5年度をもって終了ということになります。こちらのご承認よろしいでしょうか。
委員	【承認】
教育長	ありがとうございました。続きまして、報告第5号、下妻市訪問型家庭教育推進協議会委員の委嘱についてです。こちらも生涯学習課からお願いします。
生涯学習課長	【資料により説明】 ・報告第5号下妻市訪問型家庭教育推進協議会委員の委嘱について

教育長	この協議会の活動などを紹介してもらってよろしいですか。
生涯学習課長	<p>当協議会は、年3回ほど実施させていただきまして訪問型家庭教育推進事業に対して、ご指導、協議をいただくものです。行政機関だけではなく、幼稚園の代表者の方などもはいつていただき、業務の推進について、もっとこういう形がいいんじゃないかという形のご指導をいただいております。</p> <p>訪問型家庭教育支援事業は、最大のメリットは、訪問型家庭教育支援チーム員の方々が、月1回面談をさせていただきまして、1年を通して助言をさせていただくという支援を行っております。基本的には傾聴が中心なんですけど、そこで終わる訳ではなく、お子様が進学する小学校の方にも支援を事前につなぐことができることが大きなメリットかと思います。保護者の皆様の一番の不安が、うまく小学校生活が送れるかというところでございますので、つなぎの事業ということで、スムーズに小学校生活を送ることができましたという喜びの声も聞かせていただいています。この事業の方針を決めていただくのが、この推進協議会の委員の皆様でございます。</p>
教育長	<p>協議会そのものは、年に3回やってます。次の報告案件にある実際の支援チームの活動の報告とか、そういうものをこの協議会で受けてよりいいものにしていこうということです。</p> <p>ご承認いただけますでしょうか。</p>
委員	【承認】
教育長	ありがとうございます。続きまして、報告第6号、下妻市訪問型家庭教育支援チーム員の委嘱についてお願いします。
生涯学習課長	<p>【資料により説明】</p> <p>・報告第6号下妻市訪問型家庭教育支援チーム員の委嘱について</p>
教育長	ご質問等ございましたらお願いします。
齊藤委員	昨年の実績で、述べ44回ということですが、それぐらい家庭訪問してるということなんですか。
生涯学習課長	家庭訪問をさせていただくご家庭もあれば、来庁していただいて面

	<p>談をする方もいます。それは臨機応変に対応しております。</p>
齊藤委員	<p>例年、これくらいの数で、支援を要する家庭があるということでしょうか。</p>
生涯学習課長	<p>実際には、もう少し多いのではないかと思います。保健センターの5歳時発達相談等を通して、支援につなげています。家庭教育の観点から、もう少し広げてもよろしいのかなという部分はあるんですが、どうしても国庫補助、県補助がついている事業でございますので、事業費も限りがあり、できる中で最善を尽くしているのが、この7名というところでございます。1回の面談は、1時間と決めてはいるんですが、色んなご相談があり、この委員の先生方のご努力には感謝しております。</p>
齊藤委員	<p>はい、ありがとうございます。</p>
教育長	<p>具体的には、お二人でチームを組んで面談をしているんですね。</p>
生涯学習課長	<p>そうです。</p>
赤荻委員	<p>主任指導員で学校訪問したときに、訪問型家庭教育支援のことで質問があって、管轄は生涯学習課になりますということだったんですけど、保護者の方が待っていらっしゃる方もいるんだなということがわかりました。</p>
生涯学習課長	<p>いろんなお話をする機会が少ない保護者の方には、非常に有り難いという声があります。学校の先生方も、就学前から情報を共有させていただき、事前に支援を準備いただけるので非常に有り難いという声をいただきます。保護者の皆様方もスムーズに学校生活が送れているので、本当に有り難いですというお声も聞かせていただくので、非常にそういった意味では人数は少ないかもしれませんが、意義はある事業かなと生涯学習課では考えております。</p>
教育長	<p>子育てについて相談する人、聞く人がいないという、孤立されている親御さんが、相談できて良かったと、子育てだけじゃなくて家庭の問題なんかも相談できたなんていうことも報告でお聞きしました。孤立している方も多んだなということを感じ、子育て支援や</p>

	家庭教育支援チームの役割はすごく大きいのかなとも感じました。
青木委員	根気よく、該当者の方を、よく見つけ出してあげてください。 よろしくお願いします。
委員	【承認】
教育長	ご承認いただけたということでありがとうございます。 第2号の教育支援員の説明も指導課の方でもらえますか。
教育部参事	各学校の校内の支援委員会で協議した結果を持ち寄りながら、その子にとって一番良い支援の体制はどうかという協議をします。特に特別支援学校の教頭先生方がお二人入ってもらっており、また、医師の方にも、はいってもらっておりますので、専門的な意見をいただきながらすすめていくようになっております。
教育長	はい、ありがとうございます。以上で議案の方は終了しました。 では、5番のその他に入りたいと思います。 委員の皆様から、ご意見ご質問等ございましたらお願いしたいと思 います。
赤荻委員	令和5年4月はですね、辞令交付式の方にも参加させていただいたり、主任児童員ということで、東部中学校地区の学校訪問もさせて いただいて、実際、学校に伺って、先生たちがすごく前向きにされて いるのを体感できました。去年ぐらいまでは、コロナだったり、 ウクライナ戦争だったり、社会情勢が不安定な状況だったと思いま す。でもこの4月、もっと前向きに現実的に何ができるかという ところを考えていきたいなと思いました。
教育長	私も今年の方角性、目標は、子供たちの笑顔を守りましょうという ことで続けていきたいと思っています。一人ひとりの笑顔を大事に していきたいなど。今日も30人の子供たちの笑顔が見られたな という1日の積み重ねをしていきたいと思っています。
教育長	続きまして、青木委員さん、お願いします。
青木委員	私も下妻中学校区を主任児童員として回らせていただきました。コ

	<p>ロナから少しずつあけて、いろいろと動き出したんだなというのを実感しました。と同時に、コロナで学校に行かなくても済んでしまった時期を越してきて、不登校が課題になっているというのもすごく感じました。同時に先生方が、異動で変わられてても、しっかり引き継ぎができて見守ってあげないといけない生徒さん児童さんを先生方がわかってらして、対応していただいております。</p>
教育長	<p>はい、ありがとうございました。不登校の対応等については指導課から何かありますか。</p>
教育部参事	<p>おっしゃる通り、不登校がこのコロナ禍を経て、増えてきており、少し前までは学校に復帰することが不登校の子供たちへの関わりの大きなゴールの1つであったんですが、今、学校への復帰を前面に打ち出すよりも、社会的な自立ということで、学校に戻るだけでなく、一人ひとりにあった勉強、支援の方法を考えながら学校及びスクールサポートセンターも取り組んでいるところです。新しい挑戦として、名称は正式な名前ではないんですが、校内フリースクールというような、そのような学校の中に子供たちの居場所を作るような取り組みも市内で始まりつつあります。新たな取り組みとして、研究していきたいと思っております。</p>
教育長	<p>義務教育の考え方も、少しずつ変化しており、不登校にしてもそうですが、形はいずれにしても、1つは学力の保証をしてあげたい、しなくてはならないという責任を教育委員会としては感じてます。もう1つは、教育の最終的な目標というのは、社会的な自立だと思うんですね。義務教育でやらなくてはならないのは。その社会的な自立をどういうふうにしていくかということを考えなくてはと。最終的には、自立できる子供を、義務教育で育てていきたいなと一番感じているところです。そこで何ができるかというところを模索しながらやっていかなくてはと思います。</p> <p>齊藤委員さん、お願いします。</p>
齊藤委員	<p>教育長さんのお話を聞きながら、自立というと、特別支援学校は特にそうでした。自立できること、社会に出て自分で生活できる、行政から支援を受けるにしても、自分で働いて生活していけるようになってというのが目標でした。それが今、自立ということが、やっぱり必要な時代になってきたのかなということを、改めて思いました。</p>

教育長	私もできるだけ委員としてやりたいと思います。
学校教育課長	はい、ありがとうございました。 その他、事務局からありますか。
教育長	<p>【事務局からの報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次回の教育委員会の日程について</li> <li>・ 文科省主催の教育委員の研修について</li> <li>・ 市立小中学校の運動会・体育祭の見学について</li> </ul> <p>以上をもちまして教育委員会を閉会いたします。</p>